

発行：ひとちなか市の環境を良くする会  
 会長 小川 和 昭  
 編集：広報委員会  
 監修：ひとちなか市環境保全課  
 TEL：029-273-0111 (内3312)

# 環境から版

## 環境イベント

募集

### 森林保全活動

1月～3月第3土曜日  
 時間：9：30～正午  
 場所：美田多地区  
 参加費：200円(昼食代)  
 連絡先：090-2565-2634  
 (磯前)

### 環境シンポジウム

(ひとちなか市主催)  
 日時：2月8日(土)  
 午後1時～  
 場所：ひとちなか市文化  
 会館 小ホール  
 内容：市内小中学校と事  
 業所の環境活動発  
 表があります。  
 申込み不要、参加費無料  
 たくさんのご参加をお待  
 ちしております。



隣のブースでは、市環境保  
 全課が、環境保全啓発ポス  
 ターの一般投票を行って  
 いました。  
 入賞者は環境シンポジウ  
 ムで表彰されます。

## 環境四季時計『秋祭り』

～わくわく・らくらく ミニエコライフ～

11月2日3日、市産業交流フェアのみんなの消費生活展に参加し、環境四季時計『秋祭り』を開催。



段ボールコンポストの作り方



### 工作コーナー



落ちないとんぼ



竹の万華鏡作り



竹林の間伐材を活用しています



竹製品



竹細工

### 出前講座

### 本会の活動紹介

### 茨城大学にて

茨大人文社会科学学部研究科棟で、大学院授業「持続可能なコミュニティ・デザイン論」の講義を原口弥生教授から依頼され、7月24日に実施しました。

演題は「本会の12年を振り返って」とし、内容は、会の設立の動機・目的・組織・年度別各種活動・行政との協働関係・課題、地域共同体構築の意義等でした。

講義後は感想を含めた質疑応答があり、その主な内容は、コーディネーターやファシリテーターの役割、活動資金、会員募集法、エコライフの持続性などでした。また、本会が12年も継続していることへの評価もありました。



(斎藤)

### 「大砂丘に親しむ環境講座」

7月27日、国営ひたち海浜公園内の砂丘エリアで、希少な海浜性植物の保護を目的に、外来種植物の観察及び除去活動を行いました。26名の参加により、軽トラックの荷台に山盛りの外来種植物を除去できました。

砂丘エリアは、今年7月にオープンし多くの海浜性植物が生育していますが、外来種植物も育っています。海浜性植物には、環境省・県の絶滅危惧IA類、II類、準絶滅危惧種等に指定されている希少な植物があります。一方、外来種植物も多く、生態系被害防止外来種・重点対策外来種に指定されているオオフトバムグラ、コマツヨイグサ、きれいな花が咲くオオマツヨイグサなども多く生育しています。

海浜性植物の特徴は、海浜の過酷な環境に適応した性質を持っており、葉は厚く硬く光沢があり、水分の蒸散を防ぎます。海浜の地表は、成長時期の夏場には極度の乾燥にさらされますが、砂地深くに根を伸ばすことで水分を得やすいようにしていることも海浜性植物の特徴です。

今回の活動に際し、海浜公園登録ボランティア・パークパートナーに登録しました。



一列に並んで外来種を除去

準絶滅危惧種：ピロードテンツキ



絶滅危惧IA類  
ハナハタザオ

### わがまちの環境活動

ひたちなか市立勝田第一中学校

今年度の環境保全委員会は、「楽しく活動しよう」を目標に取り組みました。2回の奉仕作業と花植え、落ち葉収集に加え、新しい試みで種からの育苗を親子で実施し、定期的に行っている花壇の除草や樹木の整枝の他、今まで手が入らなかった場所に力を合わせ工夫して子供たちの環境を整えました。

また、材料の無償提供もあり、竹の土留めや花壇の縁取りレンガの設置も出来ました。土留めはもう少して完成となります。

学校側の理解と協力もあり、休日を使つての活動が出来た事は本当に感謝です。来年度は更に充実した活動により、花に囲まれたより良い環境で子供たちが学校生活を送れるように引き継いでいきたいと思ひます。



PTA 奉仕作業の様子



整備された花壇



SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。今号では17の目標の中でNo.14「海の豊かさを守ろう」に該当する本会の活動を紹介します。

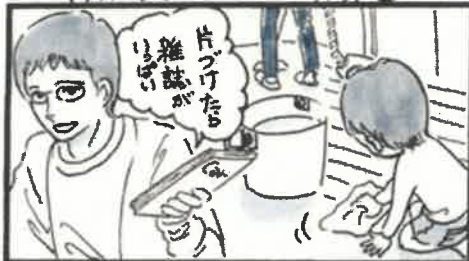
**那珂湊漁港ごみ除去活動 10月24日(木) 9:30~11:45**

世界的に課題となっている「海洋の汚染」を軽減するための活動です。地域住民による一斉海岸清掃場所からはずれた区域には、長年の古いごみが蓄積していました。作業開始時は、ペットボトル、発泡スチロール、レジ袋、ビニール袋、缶、瓶類等を分別して回収しました。しかし、古くて劣化

**環境  
よもやま  
4コマ**



~年末の大そうじ~



分ければ資源

が激しいものが多くあり、途中からは「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」の2つに分別し回収作業を行いました。

**回収したごみ**

燃やせるごみの量 57.5kg

燃やせないごみの量 26.3kg

その他 プランター：6.5kg 炊飯器：2.2kg ごみ箱：1.3kg



ごみの重量計測

捨てられていたプラスチック類は、長い期間の放置により天日にさらされ劣化してボロボロ・粉々に砕けています。「風雨で海に流れると、マイクロプラスチックとして海洋汚染に繋がることが心配だ。」と参加者の感想がありました。

会では今後ごみの除去をすすめ、ごみを捨てにくい環境にしたいと考えています。

※燃やせないごみを整理して洗浄し、缶類 6.5kg、ガラスびん類 3.6kgを資源回収に出しました。

17のゴール (目標)	ターゲット (達成基準)
<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>	<p>14.1 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p> <p>2025年までに、陸上活動による海洋堆積物や富栄養化をはじめ、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に減少させる</p>



みなさんは、そばは好きですか。平成25年より毎年そばを栽培し収穫したそば粉でそば打ち・試食会という美味しく楽しい活動をしています。そば栽培を始めたきっかけは、森林保全活動でした。間伐をしていた竹林の地主さんが、「休耕地になっていく畑で何か作ってみたら」と言ってお下り、相談の結果、痩せている土地で初心者でも栽培しやすいそばを播いてみることにしました。刈り取ったそばを掛けるおだは間伐竹で作り、間伐竹で焼いた竹炭の粉をそば畑に撒いていきます。今年も順調に作業が続いていきます。

**休耕地利用・そば栽培**

## 「緑のカーテン」 私たちも取り組んでいます ②

稲田郵便局 相田 富士夫局長

東日本大震災の節電をきっかけに南側の窓を日陰にしようと緑のカーテンを始めました。パッションフルーツをはじめスイカ・ひょうたん・ゴーヤ・メロン・スイカ(大玉)いろいろ試しました。パッションフルーツは太陽光は遮りますが、実が生りませんでした。収穫に成功したのは、ゴーヤとメロンでした。特にメロンは最大2キロにもなり、お客さまからの「あれは何？」の質問に答えるのが楽しみになりました。

今後は、何度やっても黒くなって溶けてしまう『大玉』スイカを、窓際に吊るすのが目標です。どなたかアドバイスをお願いします。

(育成面積 14㎡、佐野中学校区)



ネットで吊るされたメロン



### 「緑のカーテン」の魅力

#### パネルで紹介

省エネ、温暖化防止を目的に、5月から9月にかけて第5回「緑のカーテンでエコチャレンジ」を実施しました。応募件数は、昨年より若干多い99件、総育成面積は1597㎡でした。その成果を「みんなの消費生活展」でパネル展示しました。省エネ、きれい、食べられる等の魅力を伝える写真や感想を紹介しました。また応募者全員の写真を、中学校区ごとにまとめて展示し好評をいただきました。

お願い  
来年も同様に第6回目を予定しています。実施にあたり、今年収穫した「緑のカーテン」の種や苗をお譲り頂きたい協力をお願いします。  
問合せ先 080-1194-3207 山形

### 会員だより

異常気象が日常になりつつあります。台風・洪水・干ばつ・熱波など、その影響が人々の暮らしを脅かしています。今年は、記録的な大雨・強風の大型台風が来襲し、関東・東北地方に甚大な被害をもたらしました。地球温暖化が叫ばれるなか、気候危機を回避するために、我々は何をなすべきかわかれています。当然一人の力では如何ともしがたいのですが、せめて皆さんと共に活動していければと願っております。

なお、我が家では、雨水タンク(写真中央)・小型太陽光発電機(写真右)の利用のほか毎夏緑のカーテンを設置しています。(井上)



ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>廃棄物の中間処理施設</p> <p>株式会社 カツタ</p> <p>ひたちなか市高野1968-2 TEL(029)270-3711 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>緑のカーテン・エクステリアのデザイン・施工</p> <p>Maki planning http://www.maki-planning.com/</p> <p>プロが選ぶカーテン販売の専門店</p> <p>Mam's garden http://www.makigp.com/</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所</p> <p>ひたちなか市高野1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p>社会福祉法人 環境改善 いくいほ</p>	<p>HiKOKI</p> <p>工機ホールディングス(株)</p>	<p>Bio Power</p> <p>木質バイオマス発電所(株) バイオパワー勝田</p> <p>ひたちなか市高野1974-1 TEL029-270-3341</p>
<p>私たちは、</p> <p>美しい地球を次の世代へ!</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。</p> <p>㈱日立製作所水戸事業所</p>	<p>セイメイヤ</p> <p>ひたちなか馬渡店</p>	<p>Global Support KOMATSU</p> <p>コマツ 環境工場</p>	<p>人と自然への思いやりを大切に</p> <p>勝田環境 KATSUTA KANKYO</p>	<p>ひたちなか・東海</p> <p>ヘイトラスト株式会社</p> <p>ひたちなか市新光町103-2 TEL (029) 265-6571</p>	<p>ひたちなか・東海</p> <p>ヘイトラスト株式会社</p> <p>ひたちなか市新光町103-2 TEL (029) 265-6571</p>